

12月 えんだより

令和6年12月2日(月) NO.10

朝晩の寒さも日に日に増し、冬らしい季節となりました。

12月は発表会、餅つき、クリスマス…そして新年を迎えるための大掃除やお買い物など子どもたちにとって楽しいことがいっぱいですね^^

そして、14日はいよいよ発表会です

去年とは違った成長を見せてくれることと思います。今年の発表会は、指定管理最終年度の発表会となりますので、ご家族お揃いで見にいらしてくださいね。

最後になりましたが、保護者のみなさまのご理解とご協力のもと、2024年を過ごすことができましたことを職員一同心より感謝申し上げます。師走の慌ただしさに追われることなく、楽しい園生活を過ごしていきたいと思ひます。

M e r r y C h r i s t m a s



12月の行事予定



月	火	水	木	金	土	日
						1
2 発育測定 発表会予行 (以上児)	3 ぱんだ・きりん組 発表会予行	4	5 発表会総予行 (全クラス)	6	7	8
9	10 発表会総予行 (全クラス)	11	12	13	14 第15回 発表会	15
16 土曜保育 締切日	17	18	19	20 誕生会 	21	22
23	24	25 もちつき	26	27	28 保育納め	29
30	31	おしらせ ・12/13日(金)は前日準備の為、延長保育はありません。早めのお迎えにご協力 いただけると大変助かります^^(いつもご協力いただきありがとうございます)				

今後の行事予定

1/4 (土) 保育始め 1/17(金) 焼き芋大会 1/24(金) 誕生会 2/3(月) 豆まき 2/21(金) 誕生会
2/22(土) 参観日 (マラソン大会) 3/3(月) ひなまつり会 3/8(土) 卒園式 3/28(金) 誕生会



あたらしいおともだちです^^

めいちゃん (1 さい)
♪たくさんあそんでね^^
よろしくおねいします♪



えんちょうせんせいのつぶやき…第72弾

ついに2024年最後の月となりました。👉

今年入所した子ども達、そして進級した子どもたちも9か月が過ぎて大きく成長しましたね。かなり暑かった10月の運動会から早2か月が過ぎて、発表会に向けておおずめとなり、やる気満々の子どもたちですよ。(*^^)v

今年は、15年運営してきました、宮崎市指定管理最終年度ということで、コロナ前に戻して久しぶりに全クラス揃って発表会を行い、最終年度を締めたいと思います。

きりん組の子どもたちは長年の保育生活から発表会の見通しもたち、運動会の自信もプラスされて和太鼓もさらにパワーアップしています！しかも、年中さんも、年長さんが叩いているような腕っぷり！！(すごいです！)それを見て育てているぱんだ組の子どもたちも、和太鼓の楽しさを運動会で経験して練習風景を見ても運動会の時とは全然違ってきますよ～☺

ひよこ、りす、うさぎ組の子どもたちも昨年の発表会から大成長です！！第15回発表会を楽しみにしてくださいね。

こうして、子どもたちは保育園で集団生活を経験しながら色々な年齢の子どもたちと過ごし、毎日たくさんの成長を重ねています。(´▽`)

子どもたちが成長するにつれて感情の変化や心の成長、友達との感情のぶつかり合い、成功体験や失敗体験、大人になるまでに色々な学びを通して人格の形成を培っていきます。

お仕事をしながら子育てをしていると時間に追われて、子どもとしっかり向き合うことも難しくなってきますね。お父さんお母さんに余裕がないとついつい叱ってしまって、後で反省…なんてこともよくあるのではないのでしょうか。

小学校低学年までは、1日1回はぎゅっと抱きしめてあげるといいですよ。そういった毎日のスキンシップを大事にしてあげると、愛着関係が養われて、子どもは自然とひとり立ちしていきます。

今は乳幼児期という、先がまだまだ長いと感じているかもしれませんが、私も子育てをしながら子どもが社会人になって本当にあっという間に終わってしまった感覚です。

今、まさに子育て中のお父さん・お母さんにお伝えしていきたいことは、子どもの気持ちや、嫌なことを0歳児からしっかり言語化してあげるといことです。

兄弟、姉妹でケンカするシチュエーションや自分の思い通りにいかない場面もご家庭の現場でもたくさん出てくると思います。一つひとつを、「こういう〇〇な気持ちだったんだね～」や兄弟げんかであれば気持ちを代弁してあげるだけで、自分の気持ちを理解してくれた！など、共感力の育ちにもつながります。

特に女の子は共感力を育ててあげると、グループの中でスムーズに人間関係が成立し、社会人になったときのチーム力にもつながります。

1歳だからまだわからないではなく、1歳だからこそ色々な神経細胞が研ぎ澄まされている時期です。0歳児保育室でも、先生達の一つひとつ丁寧に言葉にして、物の取り合いでも、相手の子どもの気持ちや取られた子どもの気持ちを丁寧に言葉にして気持ちを代弁しています。そうすると、なんか気持ちが通じた！という雰囲気になり、すんなりと事がおさまっているんですね。(´▽`)

保育の現場でも、子どもの状況を見ながら時には見守ったり、気持ちを代弁してあげると子どもたちも納得しています。そうやって大人に対する信頼関係や保育の現場では、保育士との愛着関係を築いています。

(*^^)v